

ポイポイ くるくる

手混ぜ不要！ 入れて回すだけで生ごみを分解

生ごみ「ダンポ君」

なぜ生ごみが無くなるの？



ダンポ君で使用している竹チップには**多孔質**という細かい穴が空いており、その穴がたくさんの**微生物**の**すみか**になっています。



投入された生ごみを**微生物**が食べ、水と二酸化炭素に分解します。毎日生ごみを投入してもダンポ君の中身はほとんど増えません。



微生物が活発になるには**通気性確保**や**水分調整**がとても大切です。ダンポ君はそれらに優れた**ダンボール素材**で出来ています。

生ごみダンポ君はオリジナル段ボール型コンポストです

ごみ出しの手間が省ける

燃やせるごみの半分は生ごみです。ダンポ君に毎日の生ごみを投入すれば、燃やせるごみの量が半分になり、ゴミ出しの手間も省けます。ゴミ出しが大変な高齢者や身体が不自由な方の**負担**も軽くなります。



実用新案取得のオリジナル設計

ダンポ君は、本体そのものを回転させる設計（実用新案取得済）になっています。普通のダンボールコンポストに比べて、より衛生的に効率よく生ごみの処理をおこなうことができます。

実用新案登録 登録第3197533号

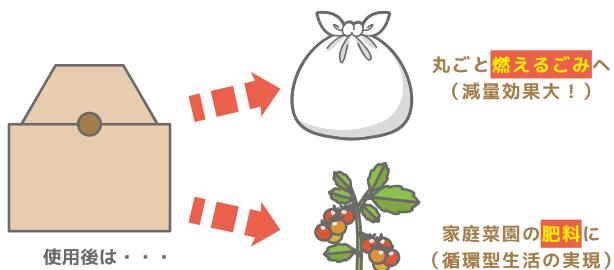


生ごみはどれくらい減らせるの？

1世帯が1日に500gの生ごみを捨てると、その重さは3か月間で**合計45kg**にもなります。一方、生ごみを毎日投入して、分解が終わったダンポ君は最終的に燃えるごみとなりますが、その時の総重量（本体を含む）は**5kg**程度です。

ダンポ君を使用すれば、生ごみを**約10%まで少なく**できます。また、生ごみと違い、水分も少ないので、焼却するエネルギーも少なくて済みます。

さらに、ダンポ君の中身は1ヶ月ほどで堆肥としても使えます。



ダンポ君は地球にもやさしい！

生ごみの約80%は水分です。生ごみは焼却処理に多くのエネルギーを使い、大量のCO₂を排出します。CO₂は地球温暖化の最大の原因です。

地球のためにも、まずは一人ひとりが生ごみという身近な問題から取り組んでいくことが大切ではないでしょうか。

使い方のコツ

使用方法について

使い方はYoutubeでも動画公開しています。『生ごみダンポ君』で検索していただくとご覧いただけます。

1. 使用前の準備

組み立てたダンポ君本体に竹チップを投入します。入れたばかりの竹チップは乾燥しており、このままでは分解がうまく進みません。

使い始める前に、米のとぎ汁（500ml程度）を少しずつふりかけ、竹チップに満遍なく水分を含ませましょう。



さらさら
-乾燥している状態-
水を含ませる前の竹チップ
粉っぽくサラサラしている



しっとり
-程よく水分を含んだ状態-
握ると固まるが、水分が滲み出することはない

2. 生ごみ投入の目安

三角コーナーなどで水気を切った生ごみをダンポ君に投入します。
ダンポ君の1日あたりの処理量の目安は三角コーナーの半分ほどで約500gです。

分解しやすいもの…高カロリー

廃食用油、肉、魚、ご飯、加熱された食品



分解に時間がかかるもの…低カロリー

未加熱の野菜くず、果物の皮や芯



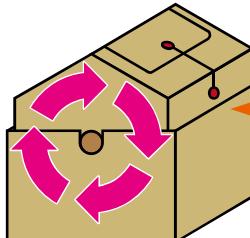
分解できないもの…人が食べられないもの

卵の殻、貝殻、骨、玉ねぎなどの外皮



生ごみを投入し蓋をしたら、本体を手前に4～5回手で回します。

回転させることで、生ごみと竹チップがまんべんなく混ざり、さらに空気を取り込むことができる、微生物が生ごみを分解しやすい状態（好気性発酵）することができます。



まんべんなく生ごみと竹チップが混ざっている様子

3. こんな時は・・・

① 分解が進まない

- ・竹チップがカラカラ→米のとぎ汁か廃食用油※をかける
- ・竹チップがベタベタ→竹チップの交換
- ・野菜くずなど分解しづらいごみが多い
→分解しやすいように小さく切ってから投入
廃食用油をかけて分解力をアップさせる
※300ml～500ml程度

② においがする

悪臭の一番の原因是ダンポ君の中の水分が多いせいです。竹チップの入れ替えをしてください。
また、肉や魚のようなタンパク質中心の生ごみを大量に分解するとアンモニアが発生することがあります。気になる場合は投入を控え、よく回してください。

③ 虫がわいた

竹チップは殺虫剤を使用していない天然物のため、ダンポ君投入前の生ごみに卵が産み付けられているとコバエなどの虫がわくことがあります。

気になる方は殺虫剤の使用をお願いします。オーガニックにこだわる方はニームオイルなど自然由来の防虫剤もございますのでそちらをご使用ください。

④ 本体交換の目安

- ・内部の水分や大雨や台風※などでダンボールの強度が弱くなった時
※大雨の日はビニール袋などで覆うと保護できます
- ・微生物の働きが弱まって分解力が落ち、中身がベトベトになったことで、悪臭の発生や、虫が気になりだした時

お問合せ先

NPO法人 愛・あいネット

鹿児島県鹿屋市旭原町3593番地27

電話：① 0994-31-1853（代表）② 090-9579-6523（担当者直通）

メール：namagomi-danpo@aiainet.or.jp